

整数（位の数）の問題 ①（表つき）

なまえ _____

表をうめて、等しい関係を2つ見つける

ひづけ _____

表をうめて、①x、yをおく→②表→③等しい関係を2つ→④解いて確かめる→⑤答える の順に解こう。

- ① 2けたの自然数があります。十の位の数と一の位の数の和は10です。
十の位の数と一の位の数を入れかえてできる数は、もとの数より18大きくなります。
もとの自然数を求めなさい。

① x は () y は ()

②	十の位	一の位	数の表し方
もとの数			
入れかえた数			

③ 等しい関係を2つ

ア _____

イ _____

⑤ 答え _____

④ ここに連立方程式をつくって解こう（確かめも書く）

- ② 2けたの自然数があります。十の位の数と一の位の数の和は12です。
十の位の数と一の位の数を入れかえてできる数は、もとの数より18小さくなります。
もとの自然数を求めなさい。

① x は () y は ()

②	十の位	一の位	数の表し方
もとの数			
入れかえた数			

③ 等しい関係を2つ

ア _____

イ _____

⑤ 答え _____

④ ここに連立方程式をつくって解こう（確かめも書く）

- ③ 2けたの自然数があります。十の位の数と一の位の数の和は7です。
この数の十の位の数と一の位の数を入れかえると、もとの数より45大きい数になります。
もとの自然数を求めなさい。

① x は () y は ()

②	十の位	一の位	数の表し方
もとの数			
入れかえた数			

③ 等しい関係を2つ

ア _____

イ _____

⑤ 答え _____

④ ここに連立方程式をつくって解こう（確かめも書く）



整数（位の数）の問題 ①（表つき）【こたえ】

なまえ _____

こたえ・考え方・先生へ

ひづけ _____

① 十の位の数をx、一の位の数をyとする

	十の位	一の位	数の表し方
もとの数	x	y	$10x+y$
入れかえた数	y	x	$10y+x$

$$\begin{aligned}\text{式 } ① & \quad x+y=10 \\ ② & \quad (10y+x)-(10x+y)=18 \\ ② \div 9 & \quad -x+y=2 \\ ①-② & \quad 2x=8 \\ x & =4 \\ y & =6\end{aligned}$$

確かめ 位の数の和 $4+6=10$ 入れかえた数-もとの数 $(10 \times 6+4)-(10 \times 4+6)=18$

答え 46 (x=4、y=6)

考え方 「和が10」が位の数の関係、「入れかえると18大きい」が数の大きさの関係。

② 十の位の数をx、一の位の数をyとする

	十の位	一の位	数の表し方
もとの数	x	y	$10x+y$
入れかえた数	y	x	$10y+x$

$$\begin{aligned}\text{式 } ① & \quad x+y=12 \\ ② & \quad (10y+x)-(10x+y)=-18 \\ ② \div 9 & \quad -x+y=-2 \\ ①-② & \quad 2x=14 \\ x & =7 \\ y & =5\end{aligned}$$

確かめ 位の数の和 $7+5=12$ 入れかえた数-もとの数 $(10 \times 5+7)-(10 \times 7+5)=-18$

答え 75 (x=7、y=5)

考え方 入れかえた数が18小さいので、(入れかえた数)-(もとの数)=-18。符号に気をつける。

③ 十の位の数をx、一の位の数をyとする

	十の位	一の位	数の表し方
もとの数	x	y	$10x+y$
入れかえた数	y	x	$10y+x$

$$\begin{aligned}\text{式 } ① & \quad x+y=7 \\ ② & \quad (10y+x)-(10x+y)=45 \\ ② \div 9 & \quad -x+y=5 \\ ①-② & \quad 2x=2 \\ x & =1 \\ y & =6\end{aligned}$$

確かめ 位の数の和 $1+6=7$ 入れかえた数-もとの数 $(10 \times 6+1)-(10 \times 1+6)=45$

答え 16 (x=1、y=6)

考え方 入れかえた数は $10y+x$ 。もとの数 $10x+y$ より45大きいので、 $10y+x=10x+y+45$ 。

先生へ

- ・つまずきやすい所: 「入れかえると○大きい(小さい)」を、入れかえた数 $10y+x$ ともとの数 $10x+y$ の差の式にすると、大小の向きと符号を取り違える。
- ・表の空欄に何を書けばよいか分からないときは、問題文の数を表の行・列に1つずつ移させる。式が2本立てば、あとは解き方どおり。
- ・答え面は加減法の解き方。代入法でも、等しい関係を2本の式にできていれば正しい。
- ・印刷: A4・白黒でよい(xとyは文字で見分けられる)。答え面は、生徒に配る前に外す。